

第32回高松市中心市街地活性化協議会（書面議決）

開催結果

1. 通知年月日 令和4年4月25日
2. 案内先 委員23名
3. 概要

議題（1）会長の選任について

選任された会長：学校法人四国高松学園高松大学 学長・理事長 佃 昌道 氏
副会長について、佃会長から次の2名の指名があった。

指名された副会長：高松商工会議所 専務理事 安藤 照文 氏
高松丸亀町まちづくり株式会社 専務取締役 明石 照夫 氏

議題（2）監事の選任について

選任された監事：社会福祉法人高松市社会福祉協議会 常務理事 田中 克幸 氏
高松市南部商店連合会 副会長 河合 政弘 氏

議題（3）令和元年度認定第3期高松市中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告（案）並びに報告（案）に対する事務局（素案）について

提出された意見をもとに下記のとおり、高松市に提出した。

記

第3期基本計画の認定から2年9か月が経過する令和3年度末までの進捗状況として、全49事業のうち基幹事業である大工町立体駐車場事業の完了や新県立体育館整備事業の着手など事業の進捗が見られ未着手は0となった。37事業が継続実施中、10事業が未完了となっている。引き続き、事業の着実な進捗を図りたい。

目標指標の達成状況からみると、中心市街地内の主要観光施設年間入込客数については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2年1月末からの高松空港を結ぶ国際線全便運休に伴う外国人観光客の減少などにより、基準値を大きく下回る結果となっている。感染拡大防止対策を講じながら瀬戸内国際芸術祭などのイベントを有効に活用し、入込客数の最大限の増加に努められたい。

また、中央商店街の歩行者等通行量については、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大前と比べ、通行量が減少しているものの、目標値は達成している状況である。

一方、新規出店数については、昨年度に比べ増加しているものの、令和6年度末までの目標達成は厳しい状況である。ただし、中心市街地では、今後、マンションの建設による分譲が予定されており、定住人口の増加が期待されることや、ことでん新駅の整備を機に利便性が向上し、周辺地域の居住環境はもとより、中心市街地を含めた地域内外での回遊性の向上、交流人口の増加が期待されることから、新規出店の増加や新しい生活様式にも対応した具体的な施策の充実を図られたい。

中心市街地の社会動態とことでん3駅の乗降客数については、目標値からの乖離が見られる。高松市においては、今後の都市環境の変化を見通しながら、空き家などの既存ストックの流通を促進させる効果的な住宅施策の展開や交通サービスの充実を図られたい。

今後も、新型コロナウイルス感染症の影響が続くことが想定されるが、官民協働のもと中核事業を中心に基本計画の積極的な推進を行うことで、早期に目標指標が達成され、更なる中心市街地の活性化が図られるよう取り組んでもらいたい。

議題（4）令和元年度認定第3期高松市中心市街地活性化基本計画の変更（案）について

原案どおり承認可決した。